Campus Mail

For all the students

FIT Fukuoka Institute of Technology 福岡工業大学
この件のお問い合わせは広報課へ
TEL ：092-606-0607
MAIL：kouhou@fit.ac.jp

掲示期間　2026-170
11 月 25 日～12 月 14 日

FIT-Global PBL　工学部　生命環境化学科

明志科技大学(台湾)の学生を迎え 本学で FIT-Global PBL を実施しました

福岡工業大学（以下 FIT）は、グローバルな視野に立ち世界で活躍できる人材・技術者を育成することを目指しています。その教育の一環として、海外協定校等の学生と共に具体的な課題を主体的に解決する「FIT-Global PBL」（以下 FIT-g PBL）が全学的に展開されています。生命環境化学科では、2026 年 11 月 16 日から 11 月 20 日の期間、台湾の明志科技大学（Ming Chi University of Technology, MCUT）の学生 10 名と教職員 3 名が来日し、本学で gPBL プログラムを実施しました。



Welcome Ceremony での集合写真

2025 年および 2026 年 8 月に MCUT で gPBL を経験した本学科の学生を中心に 20 名が参加し、MCUT の学生と協働して 4 つのテーマに取り組みました。

◆分光光度計によるタンパク質の濃度測定

(赤木教授・奥田准教授) 8 月の MCUT 訪問で本学学生が作った自作分光器と市販の装置を使い、CBB 法で検量線を作成。牛乳やプロテイン飲料のタンパク質量を推定し、精度の違いを観察しました。

◆赤外分光を利用した物質同定

(三田教授) ATR 法で未知試料の候補化合物を推定し、KBr 法で測定した既知試料のスペクトルと比較して確かめました。

◆多孔質材料による水中有害物質の吸着除去

(松山教授) ノーベル化学賞の対象となった MOF を合成し、電子顕微鏡と X 線回折で評価。水中の有害化学物質の吸着除去特性を調べました。

◆表面張力・接触角の測定とモノづくりセンター見学

(桑原教授) 界面活性剤水溶液の表面張力や基板上の接触角を測定。FIT X-Fab の見学とロボット操作体験で学生同士が交流を深めました。

MCUT の学生にとっては初めての経験も多く、協働を通じて、言語や文化の壁を越えるコミュニケーション能力と国際的な視野を養いました。最後に赤木教授から修了証が贈呈されました。



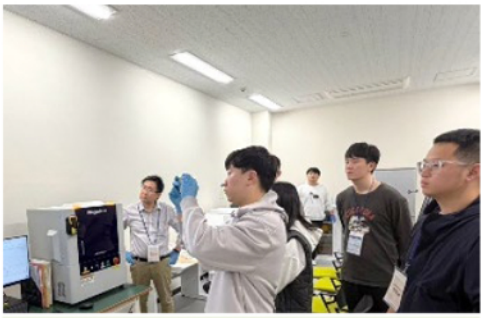
マイクロピペットの操作法



タンパク質の濃度測定



赤外分光を利用した物質同定



水中有害物質の吸着除去



表面張力・接触角の測定